

お知らせ

日本医学会への加盟申請についての公示

日本医学会

1、加盟申請書受付期間

平成十五年五月十五日～平成十五年七月三十一日

2、申請書は返信封筒(角二封筒に一六〇円切手貼付)を添

えて、〒一三―八六二一 東京都文京区本駒込二―二

八―一六 日本医師会館内 まで請求すること

訂正

第四十八巻第四号

六一七頁 本文八行目 (誤) 学会 (正) 学界

六二二頁 十九行目 (誤) 38 野蒜 (正) (38) 野蒜

六二四頁 十七行目 (誤) 28・38 : (正) 25・38 :

第四十九巻第一号

一三〇頁 下段 七行目 (誤) デイチーネ

(正) メデイチーネ

一三〇頁 下段十七行目 (誤) 三井杜長 (正) 三共社長

一三一頁 上段 四行目 (誤) 区政 (正) 医政

一三四頁 上段 九行目 (誤) 岡山県医学学校

(正) 岡山県医学館

一三五頁 下段 六行目 (誤) 八木富士雄

(正) 八木日出雄

編集後記

先日(の福岡)における第一〇四回日本医史

学会学術総会は、原敬二郎会長をはじめ、

各委員・スタッフの御尽力のお蔭で、大盛会であった。會員

の一人として御礼申し上げたい。ちなみに原先生は翌月の日

本東洋医学会学術総会の会頭もつとめられた。日本医学会の

分科会を一ヶ月余りのうちに二つも主宰されたのだから、そ

の精力ぶりは敬服のほかない。さすが「日本一長生きした」

名医・原志免太郎先生を伯父にもたれるゆえんかと感心する

ことしきり。

いいニュースがあるので、編集委員長にかわつて速報す

る。本誌は従来、日本学術振興会より文部科学省科学研究費

補助金「研究成果公開促進費」の交付を受けて刊行してきた

が、平成十四年度はどういうわけか交付停止となり、落胆さ

せられたことは周知のとおりである。ところが学会本部の努

力のかいあつて、平成十五年度は再び交付されることが決定

した。額は従来に満たないとはいえ、慶事である。

科研費の交付は本誌が学術雑誌として充実してこそこのこ

であるが、一方では交付によって生じる制約もある。すなわ

ち、申請時に予定した邦文・欧文の頁数は、交付が決定した

以上、その上限・下限は年間を通してきっちり守らねばなら

ない。予定は予定で、実際にはふたをあけてみないと、邦文・

欧文の掲載可能な論文がいかほどになるかはわからない。そ

れをいかに調節して規定枠に納めうるか。嬉しくもあり、編

集技術上、いささか心配の種でもある。

(小曾戸 洋)